

漫画展岡山県開催予定

(1) 岡山市役所 1F ロビー

4月27日(水) 9:00~17:00 28日(木) 9:00~17:00
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号
担当部局 福祉援護課 福祉係

(2) 岡山市立高島公民館

4月30日(土) 9:30~21:00 5月1日(日) 9:30~17:00
2日(月) 9:30~17:00
〒703-8203 岡山市中区国府市場99-5 Tel 086-275-1341

☆(1)、(2)のお問合せ、連絡先は、日中友好協会岡山支部
事務局長 小林まで Tel 086-277-2470

(3) 倉敷公民館 展示室

5月6日(金) 12:00~18:00 7日(土) 9:30~18:00
8日(日) 9:30~15:00
〒710-0054 倉敷市本町2-21 Tel 086-423-2135

☆お問合せ・連絡先 日中友好協会倉敷支部
事務局長 宮地まで Tel 086-446-2711

(4) 総社市役所 1F ロビー

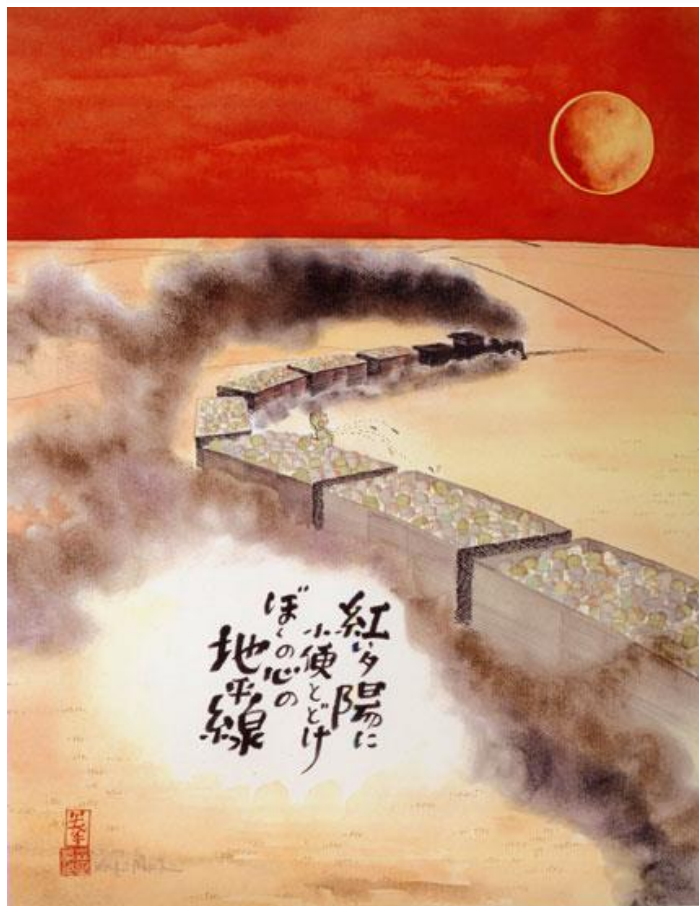
5月 9日(月) 10:00~17:00
10日(火) 8:30~17:00 11日(水) 8:30~16:00
〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号 Tel 0866-92-8266

☆お問合せ・連絡先 総社日本語教室
代表 西森まで Tel 0866-99-2560

中国引き揚げ65周年記念企画

漫画展

「中国からの引き揚げ～少年たちの記憶」



©森田拳次

日中
あかやま

読字 萩原田 親

No. 635

2011/4/15

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東武ビル3階

日中友好協会
岡山支部

〒700-8256
岡山市浜3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部

〒713-8011
倉敷市蓮島中央1-8-1
(宮地方)
TEL/FAX:0860-446-2711

岡山県下四カ所で開催

日中友好協会主催の漫画展
(中国からの引き揚げ～少年た
ちの記憶)が、岡山県下四カ所
で開催されます。

この漫画展は、昨年 協会創
立60周年「記念イベントとして
実施され、全国19カ所です約3
万3千人が鑑賞しました。
好評につき、今年に入ってから
は中国引き揚げ65周年記
念企画「事業として取り組まれ
ています。

石子順漫画展実行委員長
は、リーフレットのあいさつ文の
中で「漫画は一目でわかりま
す。ユーモアと辛らつな風刺、記
録の芸術です。……過去を知
り、現実を見つめ、未来を考
え、日本と中国との平和のため
にこの『聖命』の漫画展」とその
意義を述べています。

日中友好協会岡山支部
事務局長 小林軍治

展示されるのは、赤塚不二
夫、ちばてつや、森田拳次など
著名な漫画家の作品60点余り
です。
日中岡山・倉敷支部及び総
社日本語教室の総力を挙げて
成功させましょう。

あこがれの香格里拉(シャングリラ)④

真田紀子

3日目は、遊覧船で瀾滄川(メコン川)を下り、カンラン
バへ移動しました。途中の川の両側には、ゴムの木とお
茶の木が植えてあります。遊覧船をおりた村で、川を渡
すフェリーが動いていました。オートバイや自転車などた
くさんの人が渡しを待っています。その中にオートバイで
ゴムの苗木を運んでいる人がいました。

カンランバでは町の市場を見学です。あらゆるものが
売られています。鳥はもちろん爬虫類、そして可愛い犬
まで売られているのです。もちろん食用です、育てて大
きくなってから食べるそうです。

昼食はタイ族の多く住む民族村のようなところでした。
お寺をのぞいたり、土産物の並ぶ通りを歩いていると、途
中の小さな空き地でたくさんの男の人が集まっています。
何事かとのぞいてみると、闘鶏です。黒や茶のシャ
モを闘わせているのです。その闘鶏をしている隣がレスト
ランでした。ここでは働いているのは女の人で、男の人は
ほとんど遊んでいるのだそうで、私もタイ族がよかったです、
ガイドの陳さんが言っていました。

昼食後は中国科学院シーサンパンナ熱帯植物園の見
学です。大変大きな熱帯植物園(約3000種の植物で、
その内約1700種は雲南省の独特の植物)で、ガイドの
陳さんが熱心に説明してくれますが、暑くて木陰を探し
ながら歩きました。

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



日中友好協会本部の

東日本大震災情報

矢崎本部事務局長、から送られてきた震災情報をかいつまんで紹介しています。

☆3月30日(水)19時56分

東日本大震災の被災者救援募金の取り組みが全国で広がられており、3月30日現在、本部へは115万円余りが寄せられています。

北海道

小樽支部の太極拳扇クラスの人たちが、仙台へ習いに行った時にお世話になったと、いち早く救援募金への協力。

山口県

帰国者山形の会」が、私たちがも沢山の方々の支援を受けた。被災者は本当に大変」と救援募金の取り組みを開始。

援に行きたいが・・・」の声も。都連第2回理事会に参加の43名から12万以上の救援募金が。

山梨

3月15日付 日中やまなし通信」で救援募金への協力を訴え。

福岡

本部に、第一次分として6万円あまりを送金。

愛知

石川会長の訴えを出した。

滋賀

4月1日からの漫画展の会場で救援募金を訴える。

大阪

中国語、太極拳、胡弓などの文化教室の受講生にも、募金箱を置いて協力を。

兵庫

加古川支部の漢詩講座」で訴える。帰国者のための日本語教室」に参加していた33人の帰国者と10数人のボランティア

から救援募金が寄せられた。振替用紙に一言メッセージが。

「オンフルエンザ予防を」、神戸から応援しています」、せめて貧者の一灯を」、早く暖かくなることを祈りつつ」、原発廃止を！」などなど。

岡山

倉敷支部、本部へ10万円を送金。

広島

広島市内の中国食材店の経営者とお客さんからも募金をいただく。3月24日、本部へ10万円を送金。

福岡

帰国者が 四川大地震と帰国者新支援法成立のために世話になった国民にお返ししたい」と、福岡支部、筑紫支部、玄界灘支部の会員とともに、福岡の中心街・天神で支援募金を訴え。1時間半で12万2495円の募金が寄せられた。

その他、福井、岐阜、和歌山、高知、米子、長崎、佐賀、大分、都城などからも救援募金活動の報告がありました。ありがとうございました。

☆4月1日(金)19時10分

新潟の長岡支部は新潟中越地震で被災し、全国から救援募金の支援を受けた経験を持ち、事務局長の石黒三沙子さんは、被災地を心配するとともに、本部へも激励のお言葉を度々送って下さいました。

全国の募金の取り組みを紹介したFAXを読んで、石黒さん

上海からの便り

桑山皓子さまより

2011年3月24日
いつも大変お世話になっております。いつも日中友好新聞を送ってくださり、とてもうれしく思っています。

毎年旧正月の休みに帰国するのを楽しみにしているのですが、今年は昨年末に主人が足を複雑骨折し、治りきっていないので、帰国をあきらめました。

今年はいつ帰国できるか、まだ全然わかりません。

主人は、10回を1クールとするリハビリも3クール目の後半と

んは通信で、唯今、全国の取り組みをFAXで拝見しました。何とも心暖まる力強い組織であることかと、あらためてうれしくなりました。」と。

宮城県連は、お見舞いとお知らせ」を会員あてに出しました。その中で、「この間、中国からお見舞いメールが届き、日中友好協会岐阜県連と北京風雷京劇団からは支援物資が届けられました。さっそく宮城県労連などが中心の支援共同センターに提供して有効利用を図りました。」と報告されています。

先週は、一人で武漢まで1週間の出張授業に行つて無事に帰ってきました。

日本の地震のニュースはこちらも連日流れています。

今日はこちらの中学校での授業だったので、寄付の呼びかけに、学生も先生もすぐに応じてくれました。

今日のニュースでは、原発の影響は西日本にも広がる可能性があると言っています。心配なこと、不自由なことがこれからもあるでしょうが、なんとか最小限におさまってほしいと願っています。

~~~~~

皆で歌を合唱したり、太極拳の演技をしたり、二胡の演奏をしてくれました。皆さんからの何回もの拍手喝采を受けました。今日は本当に貴重且つ愉快な一日を過ごさせていただきました。

~~~~~

吹林内内井井垣
貝小竹竹坪深三

中国・四国中国帰国者支援・交流センター主催

広島センター学習発表会と広島市内企業見学会

見識広がり愉快な一日

篠原明男

朝6時10分ごろ、妻と一緒に「ディオ」の前のバス停から、中国・四国中国帰国者支援交流センターが借りた旅行バスに乗って、広島同センターが主催する交流活動に参加しました。

10時頃に私たちは広島マツダ株式会社本社ビルに到着しました。下車後、同社の担当社員が私たちをミュージアム館に案内してくれました。担当者の説明によると同社は、1920年コルク製造以来、今日まで91年の歴史があります。既に従業員は20,000人あまり、日産4,000台あまりの自動車の超大企業で、支店が世界中にあり、また協力会社が国内に370社、海外に150社

もありません。われわれも工場の組み立てラインを見学しました。これは私にとって初めての経験で大変有益な体験をしました。

一台ごと4,000種類3,000ぐらいの部品、200余りの工程があります。自動車の外殻だけでも、ハンダづけの場所が4,000あまりありました。これもまた見識が多いに広がりました。

正午、私たちは中華料理レストラン「味記」で昼食を取りました。ちようどレストランの社長も中国の瀋陽からの帰国者でした。また、彼の中国の住所は私たちの中国の住所と同じ地区でした。

ことわざに「老乡亲老乡亲眼泪汪汪」(同郷の人たちが会ったら、

感動してたくさん涙を流す)とあります。また、涙がなくてもうれいあまり、感傷に浸りました。

午後、私たちは広島市福祉会館に行き、センター主催の学習発表会に参加しました。その発表会に参加の前に、いろいろな体験講座に参加しました。革細工やハンディミラーや芋版クラフトやポリマークレイや健康教室など体験ができました。みんなも遊んで楽しくなりました。

われわれ帰国者たちも今回の東日本大地震の難民たちに募金しました。お金は少しかもしれませんが、われわれの彼らに対する出来る限りの真心を表わせたと思います。

発表会で広島市の帰国者たちは

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~